

	瞬時最大使用水量	164L /min
水理計算	水理計算	「優良住宅部品認定基準 (BL 規格) による計算式」により算出 10戸以上600戸未満 $Q=19N^{0.67}$ ここで、Q:瞬時最大給水量 (L/min) N:戸数 = 25戸 $Q = 19 \times (25)^{0.67} = 164.2 \text{ L/min}$
	P0:設計水圧(配水管水圧)	20 m
	P1:配水管と増圧装置との高低差による損失水頭	1.7 m
	P2:減圧式逆流防止器上流側の給水装置の損失水頭	6.32m
	減圧式逆流防止器を増圧装置の下流側に設置する場合は増圧装置の上流側の損失水頭	m
	P3:減圧式逆流防止器と増圧装置の損失水頭	7.2 m
	P4:増圧装置下流側の給水装置の損失水頭	7.2 m
	P5:末端及び最高部の給水用具の必要最小動水圧	5 m
	P6:増圧装置と最高部の給水用具との高低差による損失水頭	13.5 m
	P7:増圧装置の吐出圧力設定値 = P4 + P5 + P6	25.7m
	P8:増圧給水装置の全揚程 = P1 + P2 + P3 + P4 + P5 + P6 - P0	20.92m
	最小動水圧	0.196 MPa

1. 位置図・配置図・平面図・給水設計図・系統図・増圧装置仕様書・減圧式逆流防止器仕様書・詳細水理計算書(瞬時最大使用水量の算定・使用メーターの流量基準・減圧式逆流防止器の設置位置の決定・ポンプ停止圧力設定値の算出・吐出圧力設定値の算出)・その他当市が必要とする書類を添付してください。
2. 既存受水槽方式からの切り替えの場合は、既存給水設備の図面、耐圧試験及び水質試験の証明書等を添付してください。
3. 事前協議の内容に変更が生じた場合は、再協議してください。